

平成 23 年度

事 業 計 画 書

財団法人 燕三条地場産業振興センター

【 1 】新市場販路開拓事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業 【 担当：企業支援課 】

事業費 4,141 千円

財 源 市負担金 4,141 千円

【事業の重点】

地域企業への新規受注促進のため、医療、電子、航空機、エネルギー関連など将来有望な分野の有力企業を訪問し、地域のものづくり技術集積を PR し、新規開発案件などの情報を企業に提供する。

上記の成果の効率化及び地場製品の販路拡大を促進するため、首都圏にビジネスコーディネータを委嘱し連携を密にする中で、首都圏有力企業と地域内企業のビジネスマッチングを促進する。

登録企業約 500 社に FAX による産業振興部ニュースで、引き合い・セミナー案内などの情報を提供する。

産地間交流連携を促進し、地域企業の技術連携・企画開発力向上を支援する。

各分野からの受注促進を図り、地域企業活性化を支援する。

目標値：引き合い件数 700 件・成約件数 60 件（前年度比 10%アップ）

- ・ 地域外有力企業を訪問し、県央地域の産業技術集積を PR することにより引き合いを得る。
- ・ ビジネスコーディネータとの情報交換・市場動向報告会の開催。
- ・ 登録企業約 500 社に FAX による産業振興部ニュースを月 2 回提供する。
- ・ 地域企業を可能な限り訪問し、地域企業の動向・ニーズを把握して報告書を作成し、情報の共有化をしたうえで、受注促進に役立てる。
- ・ 新聞等への地域産業技術 PR 広告の掲載

【 1 】新市場販路開拓事業

(2) 展示会出展事業 【 担当：企業支援課 】

機械要素技術展

関西機械要素技術展

テクニカルショウヨコハマ

事業費 18,924 千円

財 源 事業収入 2,050 千円・市負担金 16,874 千円

【事業の重点】

受注促進に有効な展示会に企業と共同出展し、受注促進と地域技術 PR を図る。

今年度は国内最大の専門技術展である機械要素技術展への出展規模を拡大し、多くの地域企業と共同出展することで地域産業の大々的な PR を行い地域企業の直接的な販路拡大を図る。

受注促進に効果の大きい展示会选择のうえ、地域企業と共同出展し、地域産業・技術を PR することで受注促進を図る。

【出展予定展示会】

展示会名	時期	目 標 値	
		引き合い件数	成約件数
機械要素技術展	6 月	50 件	5 件
関西機械要素技術展	10 月	40 件	4 件
テクニカルショウヨコハマ	2 月	40 件	4 件

今年度は機械要素技術展を最重要展示会と位置付け、地元企業 25 社程度と共に出展して地域産業の大規模な PR と個々の企業の新規受注先の獲得を目指す。

【 1 】新市場販路開拓事業

(2) 展示会出展事業 【 担当：デザイン企画課 】

グッドデザインエキスポ展

デザイナーとのビジネスマッチング展

事業費 4,645 千円

財 源 市負担金 4,645 千円

【事業の重点】

デザイン性の高い商品を PR し、地域のブランド力を向上するため、デザイン評価制度への取組みを支援すると共に情報発信を行う。

デザイン意識向上のため、デザイナーとのマッチング事例を紹介するイベントを開催する。

グッドデザインエキスポ

デザインの公的評価制度（グッドデザイン賞）で高い受賞数を誇る当地域において、更なる取得数増加によるブランド力向上のため、取組みを支援すると共に、受賞商品の広報・PRを行う。（東京：8月）

デザイナーとのビジネスマッチングイベントの開催

デザインの効果を具体的に示し意識向上を図るため、地域企業とデザイナーとのマッチングによる事例を紹介するイベントを開催する。（デザインギャラリー：3月）

【 1 】新市場販路開拓事業

(3) 農商工連携産地製品販売促進事業 【 担当：物産観光課 】

事業費 54,252 千円

財 源 事業収入 9,252 千円・市負担金 45,000 千円

【事業の重点】

首都圏アンテナショップにおいては燕三条製品の販売、PR を行い、産地 PR イメージの発信を行うと共に地場産センターとの連携を図り燕三条製品の販路拡大を展開する。

包丁、はさみの研ぎ直しでの顧客サービスによって売上増を図る。

農作物については米を中心にジャム等農産加工品及び果物の販売を行う。

墨田区、町田市において地域型イベントへの積極的な出展による店舗 PR を図る。

燕三条の観光情報や観光資源の発信により観光客の地元への誘客を促す。

【 1 】新市場販路開拓事業

(4) 燕三条インターネットショップ運用事業 【 担当：物産観光課 】

事業費 9,516 千円

財 源 市負担金 9,516 千円

【事業の重点】

燕三条製品の優れた包丁、洋食器を中心と工業製品、食品、農作物等の魅力ある地場産品を全国の消費者に広く紹介し、売上の増加を図る。

昨年度に構築した新規ショッピングサイトを、随時アイテムの追加を初め加工技術の紹介ページ作成やブログ等のツールを用い充実させ、サイトへの誘導を行うことで地場産品の売上増を図る。

【 2 】企業開発力強化事業

(1) 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト 【 担当：技術開発課 】

事業費 991 千円

財 源 繰越金 991 千円

【事業の重点】

小ロット品、試作品をネットワークで対応する「小ロット・試作対応強化プロジェクト」を実施する。センター設備を活用し、材料分析・形状測定が短期間で可能なことを特徴とし、企業訪問や大学との連携で研究設備・治具試作などを介したニーズ掘り起こしを積極的に実施し、小ロット品・試作品をきっかけとした新分野への参入と継続取引の実現を目標とする。

小ロット品、試作品を軸にした新分野参入を想定している企業を公募し、ネットワークで対応する「研究会」を組織する。センター設備と専門職員を活用し、材料分析・形状測定が短期間で可能なことを特徴とし、短期間試作や小ロット品製造にも対応できる地域であることを PR カタログの製作や各種展示会を通して周知と受注活動を推進する。また企業訪問や大学との連携で研究設備・治具試作などを介したニーズ掘り起こしを積極的に実施し、小ロット品・試作品をきっかけとした新分野への参入と継続取引の実現を目標とする。

【 2 】 企業開発力強化事業

(2) 産学連携共同研究開発事業 【 担当：技術開発課 】

研磨技術に関する研究会

接合技術に関する研究会

ソフトエネルギー技術研究会

事業費 3,461 千円

財 源 市負担金 2,342 千円・繰越金 1,120 千円

【事業の重点】

当地域と連携したい地域外企業や学協会・大学等による展示会とセミナーとして今年度は研磨技術に着目し交流や展示会を開催する「研磨技術に関する研究会」を実施する。

研磨技術に関する研究会

当地域と連携したい地域外企業や学協会・大学等による展示会とセミナーを実施し、当地域企業へシーズやニーズの提供を行う。フォーラム出展者等に対して地域企業の見学会なども行い、当地域企業の見学会を実施して連携を強化させる。

接合技術に関する研究会

当地域企業の各種溶接技術の向上や新規技術の導入を目的に、新技術や問題解決に参考となる情報の提供と実験による具体的データ等の提供を行う研究会を主催する。

ソフトエネルギー技術研究会

今後大きな発展が期待されている太陽電池や各種蓄電池の知識を得て、関連技術への参入を目指すための研究会を主催する。

【 2 】 企業開発力強化事業

(3) 航空機産業参入研究会 【 担当：技術開発課 】

事業費 3,128 千円

財 源 事業収入 2,156 千円・市負担金 972 千円

航空機産業分野に参入するため、各種の情報提供と技術力向上を目指した研究会を運営し、その成果を PR し、受注獲得につなげるための展示会に出展する。

【 2 】 企業開発力強化事業

(4) 技術高度化設備導入事業 【 担当：技術開発課 】

事業費 15,000 千円

財 源 国庫補助金 7,142 千円・市負担金 7,858 千円

当地域特有の技術を高度化するには、今まで感覚で評価してきた性能を数値化して評価することが重要である。例えば刃先のような狭くて急峻な角度のサブミクロンオーダーの形状評価や、研磨面等のトレサビリティが確保された 3 次元粗さ評価は重要な課題であり、そのため超微細形状の評価装置を導入する。

【導入機器の内容】

- 1 名称 超高精度表面微細形状測定機器（3D 測定レーザー顕微鏡）
- 2 特徴 最高倍率が 15,000 倍以上と電子顕微鏡を凌駕する高倍率とともに、刃先など急峻なエッジの角度や微細形状を三次元で測定でき、線および面の表面粗さが接触式以上の精度と再現性を持ったトレサビリティが確保された計測機器を導入する。
- 3 仕様 測定光源と原理：紫外線半導体レーザーによるデュアルコンフォーカルシステム
測定最高倍率：約 15000 倍以上
粗さ測定機能：各種輪郭曲線（断面曲線、粗さ曲線、うねり曲線）
面粗さ曲線（振幅、体積）
表面粗さ保証：繰り返し性（ $100 \times 3 \sigma$ 、 $\pm 0.02 \mu\text{m}$ 程度）
正確性（測定値の $\pm 0.2\%$ ）を保証

【 2 】 企業開発力強化事業

(5) 知的所有権相談事業 【 担当：技術開発課 】

事業費 1,003 千円

財 源 市負担金 1,003 千円

当地域の産業に精通した弁理士等による、特許や実用新案、意匠などの知的所有権を戦略的に活用するための個別相談事業を実施する。

(月 2 回程度の個別相談会の開催)

【 2 】 企業開発力強化事業

(6) 専門家派遣・技術相談事業 【 担当：企業支援課、技術開発課 】

事業費 3,009 千円

財 源 事業収入 90 千円・市負担金 2,919 千円

【事業の重点】

地域企業の商品開発力・産業財産権への意識・企業体力等の向上を支援するため、企業要請により対応できる専門家を企業に派遣し、企業の活性化を支援する。今年度より技術分野の専門家派遣を繰り入れて総合的な相談窓口業務とする。

専門家派遣（企業支援課）

企業や団体が抱える技術・生産管理・商品企画などの諸問題を解決するために、専門家を派遣して指導する。

技術相談（技術開発課）

多くの当地域の企業を訪問し、潜在している技術課題を掘り起こし、ヒアリングをもとに課題の本質を明確化にして、解決するための方向付けを 48 時間に提示する。併せて開発を進めるための各種支援について情報提供や直接サポートも進める。

【 2 】 企業開発力強化事業

(7) デザイン開発支援事業 【 担当 : デザイン企画課 】

事業費 3,163 千円

財 源 市負担金 3,163 千円

【事業の重点】

商品企画・デザイン開発の相談に対し、より具体性の高いアドバイスを行うため、企業に赴き個別アドバイスを行う。

地域デザイン団体の活動支援を行う。

商品企画、デザイン出張個別相談の実施 (目標 : 50 件)

地域企業からの商品企画、デザイン相談に対し、センター職員、外部アドバイザーが企業に出向き、アドバイスを行う出張個別相談会を開催する。(月 2 回)

デザイン団体活動支援

- ・ 地域デザイン団体活動支援 (つばめデザイン研究会・三条デザイン研究会 : 事務局)
- ・ 県内デザインネットワーク活動支援 (新潟 DNA)

【 2 】 企業開発力強化事業

(8) 提案型商品開発研究会 【 担当 : デザイン企画課 】

事業費 3,221 千円

財 源 事業収入 400 千円・市負担金 2,821 千円

【事業の重点】

独自性の高い提案型商品の開発手法を学ぶワークショップを開催する。

ユーザーの目線に立った独自性の高い提案型新商品開発を支援するため、作り手の立場から脱却し、ユーザーの視点に立った開発手法を学ぶワークショップを開催する。

(全 8 回 : 4 社 × 年 2 回)

【 3 】 燕三条ブランド推進事業 【 燕三条ブランド推進室 】

事業費 39,717 千円

財 源 国庫補助金 19,461 千円・県補助金 1,000 千円

市負担金 19,256 千円

【事業の重点】

燕三条地域の知名度、ブランドイメージ等の向上による農商工全ての地域産業活性化を図るため、燕三条ブランド確立に向けた基本戦略を推進する。
前年度に引き続き、燕三条ブランド事業の目標達成に向けて「燕三条プライドプロジェクト」の取組を推進する。

(1) 委員会等運営事業

(事業費 : 2,291 千円 財源 : 市負担金 2,291 千円)

ブランド事業の実施検討機関であるブランド検討委員会及びコーディネータ会議の運営及び事業実施に向けたプロジェクトグループ会議の活動支援。

委員相互のブランディング力向上を図るための先進地視察等の実施。

ブランドデザインマネジメント事業

燕三条ブランド事業に係る広報活動や展示会出展のデザインマネジメントを行う。

(2) 広報活動事業

(事業費 : 3,407 千円 財源 : 県補助金 500 千円 市負担金 2,907 千円)

燕三条観光パンフレットの作成

駅から観タクン印刷費負担金

講演会リーフレットの作成

農産品、加工食品の商品コンクールへの出品支援

燕三条エフエム放送によるブランド PR や地域情報の発信

(3) 産業観光事業

(事業費 : 3,951 千円 財源 : 県補助金 500 千円 市負担金 3,451 千円)

燕三条駅観光物産センター (燕三条 Wing) を地域情報発信の拠点と位置付け、産業観光事業を推進する。産業観光コンシェルジュを置き、観光コースの紹介や旅の楽しみ方などを提案する。

- ・ 燕三条地域のイベント情報を集約し、HP に反映させる。
- ・ 工場見学の受け入れ先を発掘し、マップを作成する。
- ・ 観光、まちあるきルートを開発する。
- ・ 燕三条 Wing の情報発信機能の充実を図る。

(4) 展示会出展事業

(事業費 : 1,733 千円 財源 : 市負担金 1,733 千円)

ブランド情報を広く発信するため、国内外の展示会へ出展する。

FOODEX JAPAN への出展 (予定)

(5) JAPAN ブランド事業

(事業費 : 26,622 千円 財源 : 国補助金 17,748 千円 市負担金 8,874 千円)

プロダクトグループで商品開発した、洋食器、テーブルウェア、キッチンツール、ガーデン用品等のブランド化を推進するため国内外へ向けての販路開拓を図る。

ギフト・ショー、アンビエンテ (ドイツ) への出展 (予定)

「燕三条ブランド」の認知拡大を目的としたプロモーション活動の実施。

【 4 】 企業人材育成事業

(1) ものづくり技術営業力強化塾 【 担当：技術開発課 】

事業費 1,392 千円

財 源 事業収入 980 千円・市負担金 412 千円

【事業の重点】

自社の特徴的強みを分析・認識して差別化し、提案型技術営業力の強化を目的に「ものづくり技術営業力強化塾」を開講する。ニーズを持つ大手企業や成長分野企業を招聘し、ニーズとシーズの相互プレゼンを行う「ニーズ・シーズマッチング交流会」を開催し、強化した提案型技術営業力を実践し、共同開発・受注の実現などビジネスの開拓を推進する。

自社の特徴的強みを分析・認識して差別化し、提案型技術営業力を強化することを目的に実践的講習会を実施する。ニーズを持つ大手企業や成長分野企業を招聘しニーズとシーズの相互プレゼンを行う「ニーズ・シーズマッチング交流会」を開催し、強化した成果をもとに、共同開発・受注の実現などビジネスの開拓を推進する。

【 4 】 企業人材育成事業

(2) 燕三条ものづくり大学 (技術研修講座) 【 担当 : 技術開発課 】

事業費 2,500 千円

財 源 事業収入 2,500 千円

【事業の重点】

「燕三条ものづくり大学」として当地域企業が必要となる「金属材料」や「プレス成形」などの技術知識の習得を目指した講習会を総合的に実施する。

当地域企業の製造・開発現場の技術力向上を目的として、設計・製図の基本や金属材料などの基本的技術知識を得るための講座や、プレスや溶接など具体的加工分野の応用的技術知識を獲得する講座などの各種講習会総合的に運営する。

当地域の産業に造詣の深い学識経験者を校長 (総合コーディネーター) に委嘱し、事務局とともに内容を監修する。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・金属材料基礎講座 | (2 時間 × 12 日間 20 名) |
| ・図面の見方・描き方入門講座 | (2 時間 × 12 日間 20 名) |
| ・機械設計および力学基礎講座 | (2 時間 × 12 日間 15 名) |
| ・プレス加工集中講座 | (3 時間 × 4 日間 15 名) |
| ・溶接技術集中講座 | (3 時間 × 3 日間 10 名) |
| ・機械加工技術集中講座 | (3 時間 × 3 日間 10 名) |
| ・表面処理技術集中講座 | (3 時間 × 3 日間 10 名) |
| ・電気、制御技術集中講座 (新規) | (3 時間 × 3 日間 10 名) |
| ・知財活用技術講座 | (3 時間 × 3 日間 10 名) |
| ・問題解決力強化講習会 | (3 時間 × 3 日間 10 名) |

【 4 】 企業人材育成事業

(3) 技能情報高度化技術研究会 【 担当 : 技術開発課 】

事業費 589 千円

財 源 市負担金 589 千円

職人技といわれている技術は数値化が困難であるが、高精度 3 次元測定器や鏡面計などの計測機器を用いて、技能の伝承に役立てるための研究会を主催する。

【4】企業人材育成事業

(4) 企業向け IT 関連支援事業 【担当：支援情報課】

事業費 9,808 千円

財 源 事業収入 1,980 千円・市負担金 7,828 千円

【事業の重点】

企業において IT を有効活用できる人材を育成するために、企業向けの IT 講座を開催する。また、企業単位での出張講座・受託研修を行う。

企業の IT 関連の諸問題解決に向けた相談業務を実施する。

最新の企業支援情報をホームページ・メールマガジンで発信する。

企業向け IT 講座の開催

- ・ IT スキル向上を目的とし、業務に活用できる企業向けの IT 講座を開催する。
(Excel、PowerPoint、Access、画像・動画編集、HP ビルダー活用講座など)

IT サポート支援

- ・ 企業からの IT に関する疑問・諸問題の解決や、各種講座後のフォローに対応できるよう、IT サポートによる相談業務を毎週 1 回(金曜)行う。
- ・ 企業単位での講座開催の要望により、出張講座・受託研修を行う。

企業支援情報の発信

- ・ 企業に役立つ情報をホームページには「ビジネス情報提供」として掲載し、月 2 回配信しているメールマガジンにおいても同内容のものを掲載し提供する。
(展示会等イベント/企業支援制度/研修・セミナー/経済・景況の情報)

情報研修室 OA 機器、研修用ビデオの貸出

- ・ 情報研修室(パソコン、プロジェクター)を貸出する。
- ・ 企業内研修用にビデオ・DVD を貸出する。

ホームページ・フリースポットの管理・運営

センター情報関連機器の維持管理

三条市・燕市産業カレンダーの作成・配布

【 4 】 企業人材育成事業

(5) デザインマネジメント力向上セミナー 【 担当 : デザイン企画課 】

事業費 2,446 千円

財 源 事業収入 300 千円 ・ 市負担金 2,146 千円

【事業の重点】

新たな価値づくりによる優位性を高め、企業のブランド力向上のため、デザインマネジメント力の向上や、新たなマーケットの動向に関するセミナーを開催する。

デザイン経営セミナーの開催

ブランドを確立している企業の多くは、経営者のデザインマネジメント力が優れていることから、次代の経営層を対象に、デザインへの理解とマネジメント力向上を図るセミナーを開催する。(全5回 : 6名×年2回)

新分野進出に向けた商品開発セミナーの開催

今後成長が見込まれるマーケット(海外等)の動向に関するセミナーを開催する。

【 5 】 需要開拓事業

(1) 展示・即売事業 【 担当：物産観光課 】

(2) 燕三条駅観光物産センター事業 【 担当：燕三条駅観光物産センター 】

事業費 33,249 千円

財 源 事業収入 83,011 千円

【事業の重点】

多様化する消費者のニーズにあわせた商品構成と地場製品の良さを PR すると共に、消費者購買動向や新商品の情報収集を行い、魅力ある店づくりの実現を目指す。また、誘客宣伝では話題性のある観光資源を生かした企画立案を行うと共に首都圏を含めた近隣地域への積極的な誘客宣伝を推進する。

展示・即売事業

(事業費：21,287 千円 財源：事業収入 68,798 千円)

- ・ 県内外へ PR を行い、商品の受注促進を図る。
- ・ 常設展示即売場の他に各種イベントを開催し、新商品・話題商品を広く県内外に PR する。
- ・ 県内外からの来館者に対し、体験型観光による包丁研ぎ体験を通じ地場製品の PR を行う。
- ・ ETC 利用者へのサービス及び情報収集。

燕三条駅観光物産センター事業

(事業費：11,962 千円 財源：事業収入 14,213 千円)

- ・ JR 利用者を中心に G マーク受賞商品等選定基準を満たした商品をメインに地場製品の PR を行う。
- ・ 展示品の入替を出品企業に促し、新商品等地場製品の PR を図る。

【6】収益事業

(1) 他地域連携販売事業 【担当：物産観光課】

(2) 貸館事業 【担当：施設サービス課】

(3) レストラン運営事業 【担当：レストラン・メッセピア】

事業費 76,809 千円

財 源 事業収入 142,721 千円

【事業の重点】

燕三条地域の良質な刃物やハウスウェア製品を安心かつ安価に提供できる場を設け、産地のイメージアップを図ることでリピーター（燕三条ファン）をつくりだし、その他の燕三条製品の販売拡大を行い地域経済の活性化を促進することを目標とする。

貸館事業、食堂事業の連携により会議室、ホール等への飲食提供を推進するなど施設利用の利便性、多様性を高めながら利用満足度の向上とともに両事業の相乗的な増収に務める。

他地域連携販売事業

(事業費：2,349 千円 財源：事業収入 7,260 千円)

- ・年末刃物特価市を開催し、他地域の地場産センターの協力や県内外の食品加工製造業者の出展により、一般消費者が来場しやすいようなイベントを併設した刃物特価市を開催し、多くの集客を図ることで、燕三条製品の販売拡大を行い、地域経済の活性化を促進することを目的とする。
- ・地域外の新潟県の特産品を販売することにより、県外よりの観光客の満足度や観光地としてのイメージアップを図る。

貸館事業

(事業費：7,359 千円 財源：事業収入 68,360 千円)

- ・各種展示会、会議などのコンベンション施設としての特性と県央に位置する地の利、環境を活かし、快適で魅力ある各種イベント、交流の場を提供する。
- ・開催されるコンベンションの成功を支援するとともに満足いただけるサービスを提供する。
- ・展示即売事業との連携による貸館利用者との合同即売イベントを行うなど、来訪者への需要喚起を図りながら貸館利用を促進する。

レストラン運営事業

(事業費：67,101 千円 財源：事業収入 64,800 千円 雑収入 2,301 千円)

- ・施設利用者および来訪者のレストラン利用について、食事や懇親会の場、快適な休憩の場を提供しながら施設としての利便性を高めるとともに満足いただけるサービスに務める。
- ・燕三条地域を中心とした県内産農産物や加工品を取り入れたメニューを提供するなど地場製品の普及を図るとともに観光誘客促進に務める。